

# 地域防災拠点における新型コロナウイルス 感染症対策 検証結果(並木第四小学校)

## 《目次》

- ① 全体配置図・・・・・・・・・・・・・・・・P1
- ② 検証結果【受付スペース】・・・・・・・・P2～3
- ③ 検証結果【専用スペース】・・・・・・・・P4～5
- ④ 検証結果【体育館】・・・・・・・・P6～9
- ⑤ その他、避難所における感染症対策・・・・P10
- ⑥ まとめ・・・・・・・・P11
- ⑦ 参考資料
  - ・避難者カード／避難者健康チェックシート
  - ・特定の症状が発生した場合の報告に係る掲示物
  - ・新型コロナウイルス感染症対策チェックリスト
  - ・横浜市(総務局)及び金沢区役所から拠点配備した物品一覧  
(予定含む)
  - ・動画で防災を学ぼう

# 1 全体配置図



## 【受付の設置】

受付の担当者はマスク、手袋及びフェイスシールドを着用して対応

- ① 検温チェック等の受付・・・体育館前のピロティ
  - ・手指アルコール消毒、マスクの着用
  - ・健康状態の確認
  - ・体温測定（非接触型）
- ② 一般避難者用受付・・・体育館前入り口
  - ・避難者カード及び健康観察カードの記載を依頼
- ③ 専用スペース受付・・・校舎1階入り口
  - ・症状の聞き取り、専用スペースへの案内
  - ※専用スペースは校舎3階 第二音楽室

## 2 検証結果【受付スペース】

### ① 検温チェック（体育館前ピロティ）

#### ソーシャルディスタンス



#### アルコール手指消毒



#### 健康状態の確認



#### 検温チェック



#### 体調不良者等への案内



○受付を2人（健康観察と検温役）にすることで、滞留防止を図った。

<実施順>マスク着用の確認→手指アルコール消毒→健康状態の聞き取り→検温

<聞き取り内容～お知らせいただく目安～>

- ・ 自宅療養中の方
- ・ 濃厚接触者で健康観察中の方
- ・ 息苦しさ（呼吸困難）、強いだるさ（倦怠感）、高熱等の強い症状のいずれかがある場合
- ・ 重症化しやすい方で、発熱や咳などの比較的軽い風邪の症状がある場合
- ・ 上記以外の方で発熱や咳など比較的軽い風邪の症状が続く場合

○整列時にソーシャルディスタンス（2m）を徹底、家族の場合は分けずにまとめて並んだ。

○体調不良者等を早期に確認するため、大型の案内板を用意

○体調不良者等が列に並ばないように、誘導担当が避難者に声掛けを実施し専用スペースへ案内

## ② 一般避難者用受付（体育館出入口前）

設置場所



受付要領



避難者カードの提出



- 避難者カード及び健康チェックシートを配布、滞留防止を図るため記載台は設けず、バインダーに挟んだ書類を渡し、記載後、受付に提出してもらうよう依頼した。
- ペンの使い回しを防ぐため、スコアペンを配布
- 避難者カード提出時に、避難場所を指定することで避難者管理を行うことを想定  
※避難者管理をするには、事前に避難所レイアウトを作成してあることが必須である。
- 健康チェックシートは、朝・昼・晩の3回、セルフチェックをするよう依頼した。  
※避難する際は、マスク、アルコール及び体温計を持参するよう啓発

## ③ 専用スペース受付（校舎1階出入口）

健康状態の確認



専用スペースへ案内



チラシの掲示による周知

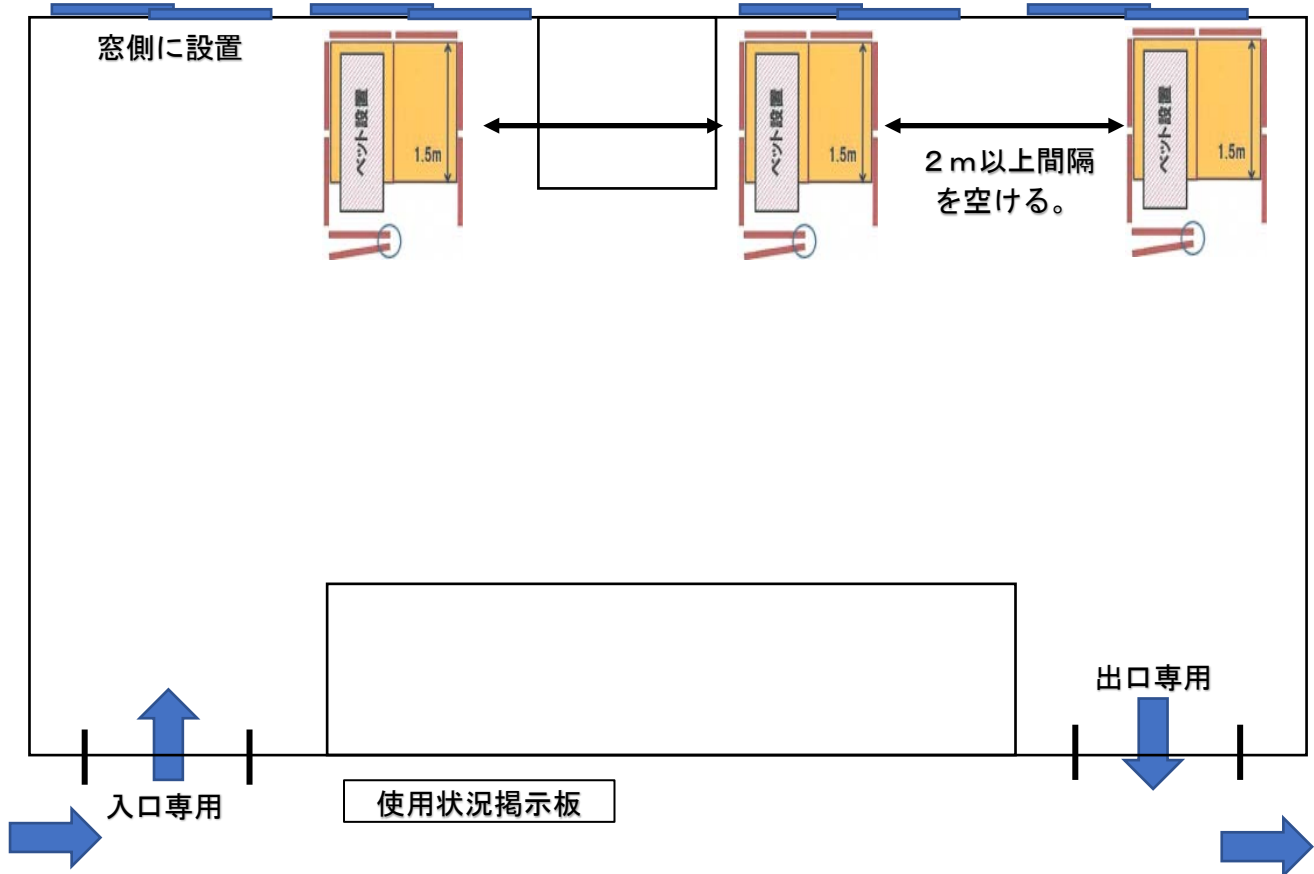


- 一般避難者の導線を極力、別にするとともに、案内する際も距離を取って移動した。
- 体調不良者等が列に並ばないよう、誘導担当が避難者に対して専用スペースへ案内  
※直接、専用スペース受付に来る避難者もいるため、必ずアルコール消毒を実施する。
- 「陽性者」「濃厚接触者」「発熱等の症状がある方」のどのタイプに該当するかを把握
- 「関係者以外立入禁止」「入口・出口専用」のチラシを校舎出入口に掲示

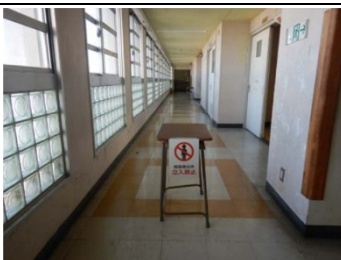
### 3 検証結果【専用スペース】

校舎3階第二音楽室に専用スペースを設営

設営状況



#### (1) 進入管理




○専用スペースのエリア前に、「関係者以外立ち入り禁止」の掲示




○「入口専用」と「出口専用」を決めて、導線を一方通行に設定

出入り口にビニルシートカーテンを設置

## (2) 専用スペース

	<ul style="list-style-type: none"><li>○間仕切り段ボールベッド<ul style="list-style-type: none"><li>・ベッドの間隔は飛沫感染のリスクを考慮して2 m以上離して設置</li><li>・仕切りが不足する場合、カーテンなどの利用も考慮</li></ul></li> <li>○換気<ul style="list-style-type: none"><li>・窓は可能な限り開放</li><li>・換気扇の使用や、サーキュレーターなどがあれば窓の方向に向ける。</li></ul></li></ul>
---	--

## (3) 管理方法等

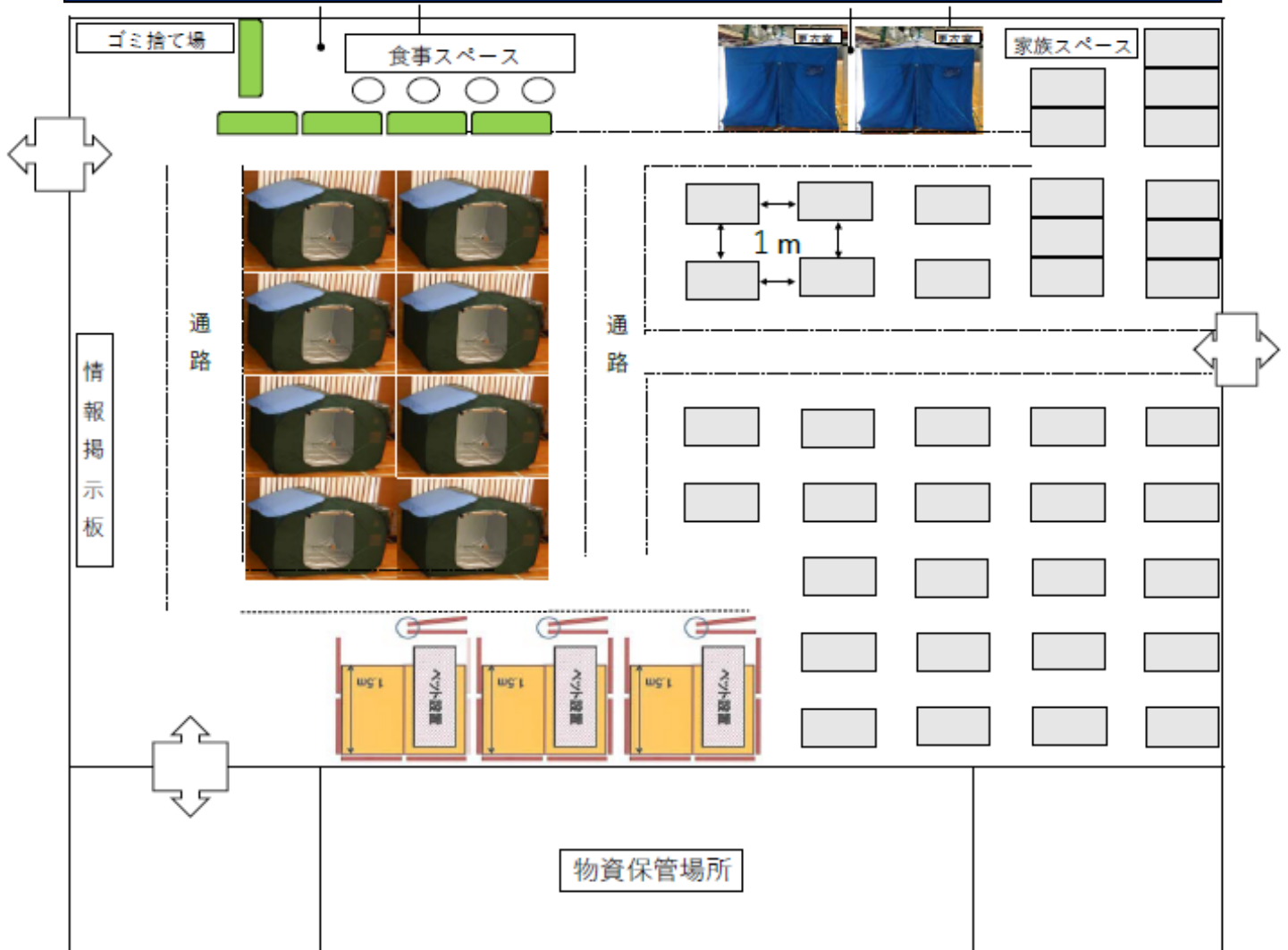
	<ul style="list-style-type: none"><li>○ホワイトボードに専用スペースの使用状況一覧を記載<ul style="list-style-type: none"><li>【記載内容】</li><li>・ベッド配置図</li><li>・使用者一覧</li></ul></li> <li>○出入口に、手指用アルコールを配置</li></ul>
--	---

- 「関係者以外立入禁止」「入口・出口専用」のチラシを出入口に掲示
- 症状に応じてベッドを指定 「入口側・軽症状」⇔「出口側・重症状」  
症状の重い人ほど、入口から遠い場所に指定
- 出入口に、手指アルコールを配置
- 避難者カードの提出は、専用スペースで記載してもらい、専用スペース外の廊下や間仕切りの外に置いたものを回収する（食事の時も同様）。

- ▼スペース内に受け渡し用の机や箱、ゴミ箱などの用意が必要であった。
- ▼出入口にビニルシートのカーテンを設置したが、手で払いのける作業が生じたため取り外した。
- ▼使用状況掲示板には、プライバシーに配慮しつつ、健康状態(症状)等の情報も記載したほうがよい。→対応者の情報管理・共有のため。

## 4 検証結果【体育館】

### 全体レイアウト



#### ○拠点に配備・備蓄している資器材を使用

- ・間仕切りパーテーションは1拠点あたり8基を配備予定
  - ※ 配備予定の間仕切りパーテーションとは仕様が異なります。
  - ※ 1拠点6セットの段ボールベッドは専用スペースに設置します。  
協定により段ボールベッドが届いた想定として体育館に配置しています。
- ・拠点に配布している、衛生ポスター等の掲示

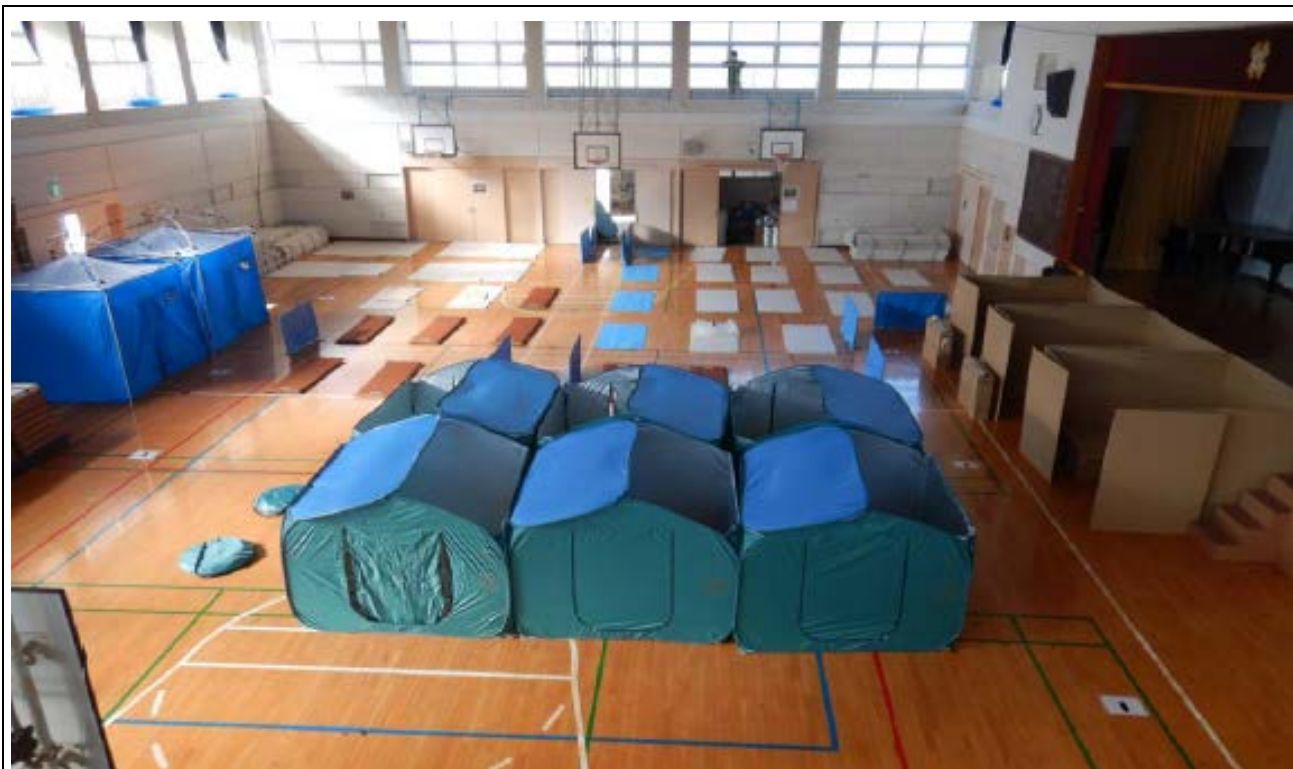
#### ○避難生活を想定したレイアウト

生活導線などを考慮したレイアウトの検証

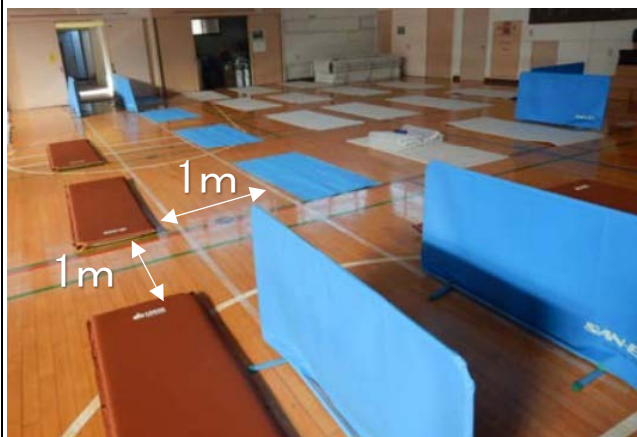
- ・避難者の動きが多いと予想される方面に間仕切りなどを配置（塵や埃対策）
- ・学校施設の備品を活用したレイアウト（仕切り板、跳び箱等）

▼季節、天候（雨、雪）、時間帯（朝、昼、夜）によって必要な物資等の検討が必要

(1) 配置後のレイアウト



(2) 配置状況



○マット

避難者1あたりのスペースを1m×2mとし、間隔を1m空けて配置

《配置したマットの種類》

- ・養生ボード
- ・マイルディシート
- ・インフレーターマット
- ・エアーマット（1拠点あたり7個保管）



○仕切り板

通路に面している箇所に、仕切り板を設置（※仕切り版は体育館倉庫から使用）





○間仕切りパーティション

設置スペースは約4.0㎡

(幅2m×奥行2m)

間仕切りにより、飛沫リスクが低くなるため、人の通行が多い方面に間隔を空けずに配置



○間仕切り段ボールベッド

設置スペースは約5.3㎡

(幅2.3m×奥行2.3m)。

間仕切りの高さは1.5mあり、座った状態であれば、隣への飛沫は比較的少ない

【1拠点あたりの配備数】

6セット

らくだんパーティション設置(1床用)

設置例①

【らくだん枚数】

・パーティション用:8枚

・床敷き用:2枚

設置例②

【らくだん枚数】

・パーティション用:8枚

・床敷き用:2枚

設置例③

【らくだん枚数】

・パーティション用:8枚

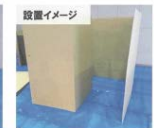
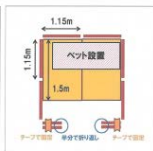
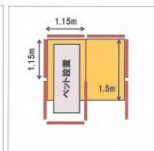
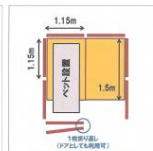
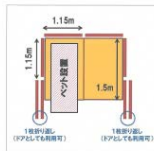
・床敷き用:2枚

設置例④

【らくだん枚数】

・パーティション用:8枚

・床敷き用:2枚



パーティション設置例  
引用) 王子コンテナ(株)

※上記レイアウトは設置例のため、各自治体が指定する設置面積などを参考に調整願います。

設置例1-3 参考 OJI



○テント(中吊りタイプ)

設置スペースは約5.3㎡

(幅2.3m×奥行2.3m)。

更衣室・授乳室等、プライベート空間

【1拠点あたりの配備数】

2セット(H23)



### ○食事スペース

- ・換気の良い開口部付近に設置
- ・出入口に手指用アルコールを設置
- ・跳び箱を利用して区画を分けた。
- ・対面ではなく、横並びで食事をするように設定



### ○ゴミの分別

- ・拠点に配布している生活衛生ポスターを掲示
- ・分別を徹底するとともに、特に「生ゴミ」は他のゴミと一緒にしない。
- ・一般のごみと感染性の廃棄物について分けるようにし、感染性の廃棄物はごみ袋を2重にする。



### ○トイレ

- ・拠点に配布している生活衛生ポスターを掲示
- ・トイレが使用できない場合は、簡易トイレやトイレパックの使用を徹底する。
- ・トイレ掃除の当番を決める。





### ○情報板

#### 《情報内容》

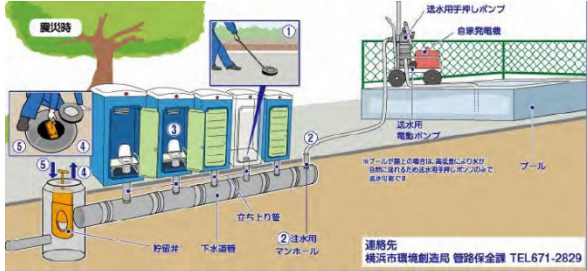
- ・安否情報
- ・被災状況
- ・ボランティア情報
- ・救援物資に関する情報
- ・医療機関に関する情報
- ・炊き出し実施時間の情報等

## 5 その他、避難所における感染症対策等

### (1) 消毒液の作成方法及び除菌方法

<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">手洗い</th> <th>残存ウイルス</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>手洗いなし</td> <td></td> <td>約 100 万個</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">石けんや ハンドソープで 10 秒もみ洗い後 流水で 15 秒すすぐ</td> <td>1 回</td> <td>約 0.01% (数百個)</td> </tr> <tr> <td>2 回 繰り返す</td> <td>約 0.0001% (数個)</td> </tr> </tbody> </table> <p>(献功功報：感染症学雑誌、80:496-500,2006 から作成)</p> <p>参考</p> <p><b>0.05% 以上の次亜塩素酸ナトリウム液の作り方</b></p>  <p>【使用時の注意】          ・換気をしてください。          ・作業中は必ずマスクをしてください。          ・他の薬品と混ぜないでください。          ・商品パッケージやHPの説明を必ずご確認ください。</p>	手洗い		残存ウイルス	手洗いなし		約 100 万個	石けんや ハンドソープで 10 秒もみ洗い後 流水で 15 秒すすぐ	1 回	約 0.01% (数百個)	2 回 繰り返す	約 0.0001% (数個)	<p>○石鹸などを使用した丁寧な手洗い</p> <p>手洗いを丁寧に行うことで、十分にウイルスを除去できる。</p> <p>手洗い場や、視界に入る場所へチラシを掲示して周知、啓発を図る。</p> <p>○消毒液の作成方法</p> <p>各種メーカー商品があるが、概ね水 1L に対して商品のキャップ 2 / 1 を混ぜることで濃度 0.05% に薄めた消毒液を作成</p> <p>共用部（ドアや手すり等）を定期的に消毒する。</p> <p>※別添、参考資料を参照</p>
手洗い		残存ウイルス										
手洗いなし		約 100 万個										
石けんや ハンドソープで 10 秒もみ洗い後 流水で 15 秒すすぐ	1 回	約 0.01% (数百個)										
	2 回 繰り返す	約 0.0001% (数個)										
	<p>○避難所の清掃</p> <p>床面は埃や塵が 20 cm 程度舞い上がるため、定期的な清掃が大切</p> <p>避難者の前は、避難者自身が掃除するなどのルール決めも必要</p> <p>※清掃道具例として大型のワイパーを展示</p>											

### (2) トイレの設置

 <p>① 設置場所の選定          ② 注水用マンホール          ③ 貯留タンク          ④ 立上り管          ⑤ 下水管</p> <p>連絡先          横浜市環境創造局 管路保全課 TEL671-2829</p>	<p>○仮設トイレの作成</p> <p>開設後、学校施設のトイレが使用できない場合は、早期にハマッコトイレ又は仮設トイレを作成する。</p> <p>定期的な消毒、使用方法などのルールを徹底させる。</p>
---	--

### (3) 新型コロナウイルス感染症者に対する対応

#### ○自宅療養者が避難してきた場合の対応

自宅療養者は陽性者であるため、個室へ案内し、その後、区本部（拠点班を通じ医療調整班へ）へ連絡し、宿泊療養施設等への搬送とします。

※ 神奈川県が宿泊療養施設等へ移送します。

#### ○避難者の中から感染者が発生した場合

直ちに拠点動員職員を通じ、区本部へ報告します。地域防災拠点の消毒や閉鎖について、区本部で検討します。

## 6 まとめ

新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえると、災害が発生し避難所を開設する場合には、感染症対策に万全を期することが重要となります。

今回の検証訓練は、新型コロナウイルス感染症を踏まえた開設・運営のポイント及び他都市のマニュアルなどを参考に実施しました。

発災直後は混乱しており、すべてに対応することは難しい場合もあるため、できる範囲から取り組みを進めることが大切です。

## 7 参考資料

- ・避難者カード／避難者健康チェックシート
- ・特定の症状が発生した場合の報告に係る掲示物
- ・新型コロナウイルス感染症対策チェックリスト
- ・横浜市(総務局)及び金沢区役所から拠点配備した物品一覧(予定含む)
- ・動画で防災を学ぼう

## 8 検証スケジュール



## 參考資料



# 避難者カード(兼 安否確認票)

No. \_\_\_\_\_

学校地域防災拠点

※ みなさまの安否情報の問い合わせについて、ご希望の番号にチェックをつけてください。  
 問い合わせに…  
1 下記の情報を公表しないでください。  
2 下記の情報を公表しても結構です。(インターネットでも検索できます。)  
3 一部の項目だけ回答しても結構です。  
 (回答してもよい項目にチェックをつけてください。インターネット検索時、チェックした項目のみ表示されます。)  
 < 住所(区町名まで) 性別 年齢 身体の状態 所在場所 >

※1世帯で1枚記入(下線の引かれた項目は、必ず記入してください。)

確認者

避難した日時	年 月 日 :	
退去した日時	年 月 日 :	
避難生活区画	<input type="checkbox"/> 体育館 <input type="checkbox"/> 教室( 階 年 組用) <input type="checkbox"/> _____	
住 所	〒 _____ 区 _____ 町 _____ 丁目 _____ 番 号 *アパート・マンション名	

同居家族全員を記入してください。

フリガナ 氏 名(NAME)	性 別	年 齢	身 体 の 状 況	所 在 場 所	備 考 <small>※原則非公開ですが、インターネット検索時に、備考を表示する場合は「<input type="checkbox"/>表示する」にチェックしてください。</small>	電 話 (携 帯) 番 号 (インターネット検索用)
災害活動に関する 特技・資格など						
	男・女		<input type="checkbox"/> 無事です <input type="checkbox"/> 被害があります <input type="checkbox"/> 不明です	<input type="checkbox"/> この避難場所 <input type="checkbox"/> 自宅 <input type="checkbox"/> 会社 <input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 表示する	- -
	男・女		<input type="checkbox"/> 無事です <input type="checkbox"/> 被害があります <input type="checkbox"/> 不明です	<input type="checkbox"/> この避難場所 <input type="checkbox"/> 自宅 <input type="checkbox"/> 会社 <input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 表示する	- -
	男・女		<input type="checkbox"/> 無事です <input type="checkbox"/> 被害があります <input type="checkbox"/> 不明です	<input type="checkbox"/> この避難場所 <input type="checkbox"/> 自宅 <input type="checkbox"/> 会社 <input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 表示する	- -
	男・女		<input type="checkbox"/> 無事です <input type="checkbox"/> 被害があります <input type="checkbox"/> 不明です	<input type="checkbox"/> この避難場所 <input type="checkbox"/> 自宅 <input type="checkbox"/> 会社 <input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 表示する	- -
	男・女		<input type="checkbox"/> 無事です <input type="checkbox"/> 被害があります <input type="checkbox"/> 不明です	<input type="checkbox"/> この避難場所 <input type="checkbox"/> 自宅 <input type="checkbox"/> 会社 <input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 表示する	- -

※電話番号及び携帯番号は検索用

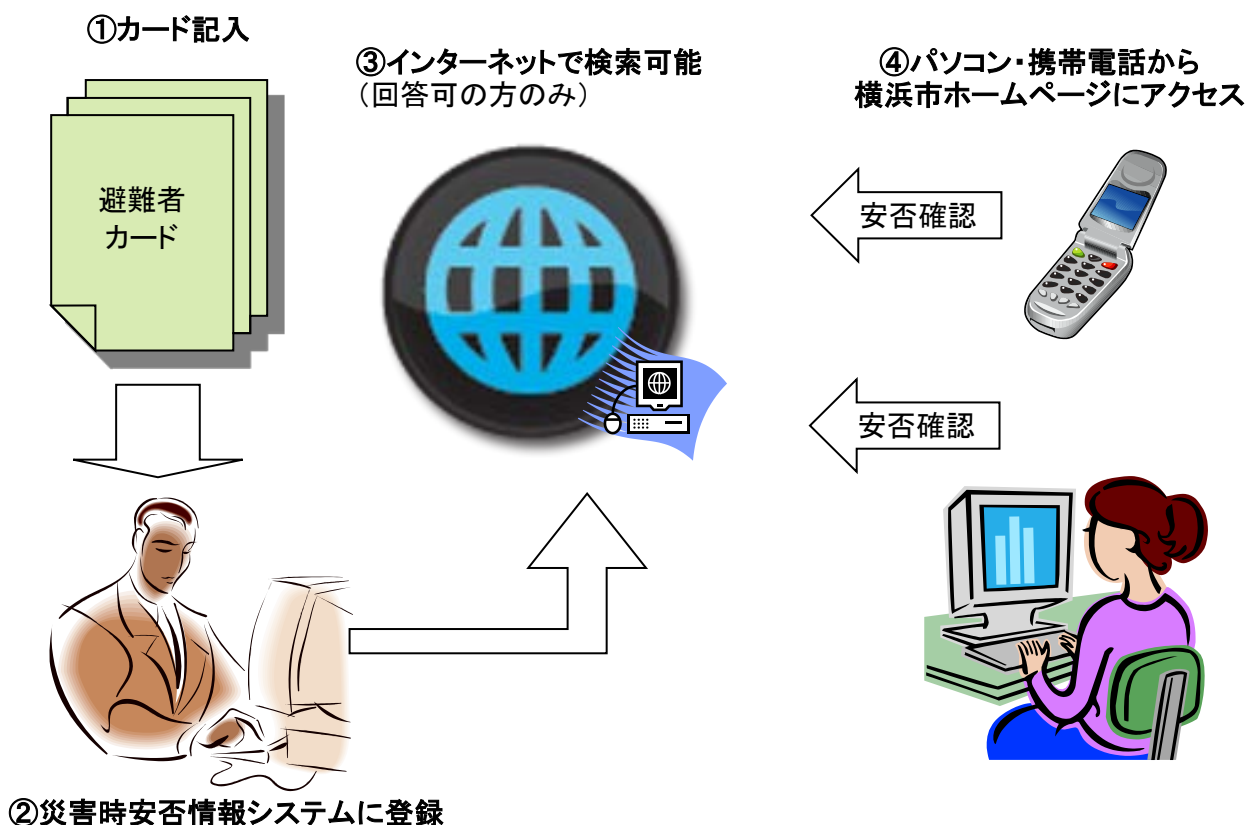
にのみ利用し公表はしません。

※本情報は、災害時のみの利用とし、災害対策本部の廃止後に消去します。

## 避難者カード(兼 安否確認票)をご記入いただく目的

- この避難場所(地域防災拠点)にどなたがいらっしゃるかを把握します。
  - 避難者とそのご家族の安否情報を把握します。
  - ご記入いただいた内容を災害時安否情報システムに登録し、避難者情報を災害対策本部と共有します。
  - インターネットで避難者とそのご家族の安否情報を検索できるようにします。  
(カード上段のチェックボックス2または3にチェックをした方のみ)
- ※ 検索時に、氏名及び電話番号を入力しますので、カード上段のチェックボックス2または3にチェックをした方には電話番号をご記入いただくことをお勧めします。  
(同姓同名者がいた場合、個人を特定する情報となります。)

### 【避難者カード(兼 安否確認票)運用のイメージ】









# 次のいずれかの症状がある場合は、 すぐに職員にお知らせください

## ●お知らせいただく目安

- ① 自宅療養中の方
- ② 濃厚接触者で健康観察中の方
- ③ 息苦しさ（呼吸困難）、強いだるさ（倦怠感）、  
高熱等の強い症状のいずれかがある場合
- ④ 重症化しやすい方（注1）で、発熱や咳などの  
比較的軽い風邪の症状がある場合
- ⑤ 上記以外の方で発熱や咳など比較的軽い風邪  
の症状が続く場合（注2）

（注1）重症化しやすい方とは、高齢者、糖尿病、心不全、呼吸器疾患（COPD等）等の基礎疾患がある方や透析を受けている方、免疫抑制剤や抗がん剤等を用いている方、妊娠中の方

（注2）症状が4日以上続く場合は必ずご相談ください。症状には個人差がありますので、強い症状と思う場合にはすぐに相談してください。解熱剤などを飲み続けなければならない方も同様です。

# 新型コロナウイルス感染症対策

## 実施チェックリスト

### ▶ 発災前のチェックリスト

感染症対策チェック項目	チェック欄
地域防災拠点となる学校の活用できるスペースが確認できている。	
発熱や咳等の症状が出た方及び濃厚接触者のための専用スペースが確保できている。	
発熱や咳等の症状が出た方及び濃厚接触者と一般の避難者の動線を分けるよう想定ができています。	
感染症対策用の備蓄品の種類や数量が確認できている。	
レイアウト例や感染症対策用の備蓄品の用途を参考にし、配置場所が想定できている。	

## ▶ 発災時のチェックリスト

### ① 地域防災拠点での受入れ

感染症対策チェック項目	チェック欄
検温チェックや受付の担当者はマスクの他に手袋、フェイスガードを着用している。	
検温チェックなどを行うための受付、一般避難者用の受付、体調に不安がある方及び発熱等の症状がある方用の受付が設置できている。	
検温チェックなどを行うための受付には、アルコール消毒液、マスク、体温計が準備されている。	
一般の避難者用、体調に不安がある方及び発熱等の症状がある方の受付に避難者カードが用意されている。	
受付に間隔をあけて並べるような目印がある。	
発熱や咳等の症状が出た方及び濃厚接触者のための専用スペースまでの動線が確認できている。	
自宅療養者が避難してきた際の対応が確認できている。	

## ② 地域防災拠点の運営

感染症対策チェック項目	チェック欄
拠点運営委員及び避難者のマスクの着用や手洗いの徹底など、基本的な感染症対策ができています。	
定期的な清掃、消毒や換気ができています。	
避難者同士（個人または家族単位）の間隔は少なくとも1 mは確保ができています。	
食事をするときには互い違いに座ったり、同じ方向を向いて座ったりして食べるようにできています。	
発熱や咳などの症状が出ている方と接触する担当者はマスクの他手袋やフェイスシールドを着用しています。	
発熱や咳などの症状が出ている方との不要かつ長時間の接触はしないようにしています。	
発熱等の症状が出ている方及び濃厚接触者用のスペースでは、各人のスペースが間仕切り等で区切られています。	
食料や物資の配付は、手渡しでなく、置いてあるものを取ってもらうなどの工夫がなされています。	
使用済みのマスク等、発熱等の症状がある人の弁当の容器等のごみについては、直接手で触れないようにしています。	

## 感染症対策資器材 配布一覧

物品名	横浜市(総務局)	金沢区役所	合計
非接触型体温計	1本+2本	—	3本
腋下体温計	1本	—	1本
サージカルマスク	500枚	200枚	700枚
小さめマスク	300枚	—	300枚
フェイスシールド	30枚	—	30枚
手指消毒用アルコール	20L	1L	21L
消毒剤(ハイター)	6L	—	6L
雑巾	10枚	—	10枚
ペーパータオル	—	200枚	200枚
使い捨て手袋	500組	50組	550組
エアーマット(ポンプ1本付)	—	7個	7個
啓発用チラシ	—	1セット	1セット
間仕切り段ボールセット	6セット	—	6セット
間仕切りパーテーション	—	8セット	8セット
養生テープ(2色)	各5個	—	10個
ゴミ袋(30L及び45L)	各100枚	—	200枚
泡ハンドソープ	10本	—	10本
ペーパータオル(200枚入)	10箱	—	10箱
コンテナボックス	1個	—	1個
スコアペン	—	100本	100本
長袖エプロンガウン	—	30着	30着
消毒用スプレー※1	—	2本	2本
アクリルボード	2個	—	2個

※令和3年3月末時点の配布物品





# 動画で防災を学ぼう！！

災害への備えについて学べる様々な防災動画を横浜市ホームページで公開しています。配布・公開している冊子とあわせて動画もご覧いただくことで、より理解が深まりますので、ぜひご活用ください。

<https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/bousai-kyukyu-bohan/bousai-saigai/pamphlet/0720.html>

横浜市 動画で防災を学ぼう

検索



QRコード

## ①防災よこはま

大地震や台風、土砂災害などの災害時の、自助・共助の参考のための動画です。事前の備えや、ご家庭・地域での話し合いなどに、冊子と合わせてご活用ください。



【動画版】



【冊子版】

## ②「地域防災拠点」開設・運営マニュアル

地域防災拠点の開設・運営手順や注意点等をまとめた動画です。拠点運営委員会での話し合いなどに、冊子と合わせてご活用ください。



【動画版】



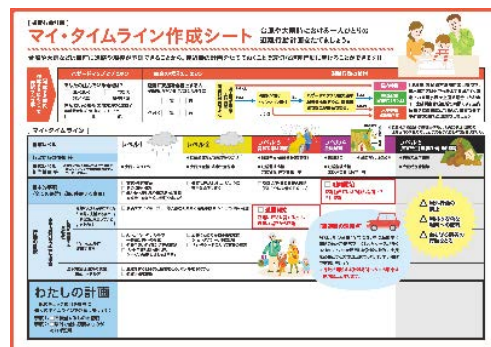
【冊子版】

## ③風水害への備え：マイ・タイムラインの作成

大雨・台風時の一人ひとりの避難行動計画である「マイ・タイムライン」の作成方法をまとめた動画です。



【動画版】



【作成シート】

## 【コロナ関連の防災動画】

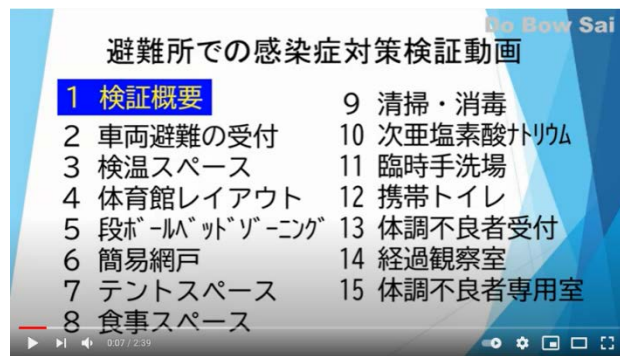
④新型コロナウイルス等の感染症対策を講じた避難所開設の確認・検証（作成：北海道危機対策課）

<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/sm/ktk/hinan/kennshoul.htm>

北海道 感染症対策検証



QRコード



⑤新型コロナウイルス感染症を踏まえた災害時の避難

⑥地域防災拠点の開設・運営について～新型コロナウイルス感染症編～

（作成：横浜市危機管理室）

<https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/bousai-kyukyu-bohan/bousai-saigai/pamphlet/0720.html>

横浜市 動画で防災を学ぼう



QRコード

